
[成果情報名] マスカット香のある早生黒色系ブドウ新品種「涼香」^{すずか}

[要約] ブドウ「涼香」は、トンネル作型で「巨峰」より早い8月中旬に収穫され、花穂着生良好で短梢1芽せん定栽培できる。果粒重10g程度、果皮は紫黒色で着色優れ、マスカット香がある。

[キーワード] ブドウ、新品種、涼香、着色、マスカット香

[担当部署] 果樹部;果樹育種チーム

[連絡先] 092-922-4946

[対象作目] 果樹

[専門項目] 育種

[成果分類] 新技術

[背景・ねらい]

国内のブドウ施設栽培において、旧盆需要期である8月上旬は「キャンベルアーリー」や「巨峰」等のフォクシー香を有する米国系品種が主体である。そこで、多様化する消費者ニーズに対応した、欧州系でマスカット香のある早生黒色系ブドウ新品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 「涼香」は、平成14年にマスカット香の「博多ホワイト」に早生の「96-9-28（宝満×リザマート）」を交雑して得られた実生の中から選抜した欧州系二倍体ブドウである（図1）。
2. 樹勢は中で、発芽期は3月中旬、開花期は5月中旬、収穫期はトンネル作型で「巨峰」より早い8月中旬である。花穂着生良好で短梢1芽せん定栽培ができ、果粒形は倒卵で裂果の発生はない（表1、表2、一部データ略）。
3. 収量は「巨峰」よりやや少なく、果粒重は「巨峰」より小さく10g程度（種なし栽培）である。果皮は紫黒色で着色が優れ、マスカット香がある。糖度は18度、酸含量は0.6%程度であり、「巨峰」よりも酒石酸の含有率が少ないため酸味は強くない（表2、一部データ略）。

[成果の活用面・留意点]

1. トンネル作型で「巨峰」の前に出荷できる品種として普及を図る。
2. 開花前に先端4cmに花穂を切詰め、軸長5cm当たり30粒を目安に摘粒して300g程度の房作りを行う。
3. 幼木時（樹齢4年以下）は果粒肥大が劣るため、早期樹冠拡大を行って樹勢を落ち着かせる。
4. 圃場内が過乾燥になると花蕾が落ちやすいため、開花前は適宜灌水を行って土壌を適湿に保つ。
5. 品種登録出願時の名称「ブラックマスカット」から、平成28年に「涼香」へ名称変更した。

[具体的データ]



図1 ブドウ「涼香」の果房と着果状況（トンネル作型）

表1 ブドウ「涼香」の育成地(筑紫野市)における特性（平成24～25年）

調査年度	樹齢 (年生)	発芽期 (月/日)	満開期 (月/日)	収穫期 (月/日)	花穂着生数 (本/新梢)	裂果性	はく皮性
平成24年	4	3/17	5/16	8/15	1.5	なし	難
平成25年	5	3/15	5/18	8/16	2.2	なし	難

注) 栽培条件：5BB 台木、短梢1芽せん定、トンネル作型。

表2 ブドウ「涼香」と「巨峰」の栽培特性比較（平成24～25年）

品 種	収穫期 (月/ 日)	収量 (kg/m ²)	果房重 (g)	果粒重 (g)	果皮色 (カラーチャート)	糖度 (Brix)	酸含量 (%)
涼 香	8/16	1.4	274	9.6	8.7	18.1	0.64
巨 峰	8/23	1.5	396	11.9	6.5	18.5	0.50

注) 1. 「涼香」は満開時 GA25ppm+フルメット5ppm、満開14日後 GA25ppm 浸漬処理。

2. 「巨峰」は満開3日後 GA25ppm+フルメット5ppm 浸漬処理。

3. 栽培条件：5BB 台木、短梢1芽せん定、トンネル作型、樹齢：24年度時点で4年生。

[その他]

研究課題名：ブドウ品種・系統適応性

予 算 区 分：国庫受託（指定試験、実用技術開発事業）

研 究 期 間：平成25年度（平成14年～25年）

研究担当者：白石美樹夫、平川信之、井樋昭宏、藤島宏之、千々和浩幸、村本晃司、
四宮 亮